

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781
<http://www6.ocn.ne.jp/~nakabc/omc-news/kaiho.htm>

平成24年2月(2012年) No.554

第23回 丹波篠山ビデオ大賞(全国アマチュアビデオコンテスト)

前田茂夫さんがグランプリ受賞!

「炎に挑む」8分のノンナレ作品

さる1月29日(日曜)、丹波篠山ビデオ大賞全国コンにノミネートされていた8作品の最終審査発表映写会が、たんば田園交響ホールで開催されました。わがOMC会員の前田さんが昨年に引き続いて今年もノミネートされていましたので、江村、進藤、合原の3名が応援に行ってきました。

会場は旧お城の側で田園風景の中にあつて、クラシック調の落ち着いたムードのある立派な会館でした。

1時から始まった8本のノミネート作品は、1本1本上映が終了する度に作者へのインタビューと審査員の講評があり、丁寧な進行ぶりだなあと感じ入りました。今大会のメインテーマは「生きる」、それぞれ良い作品だけに最終審査結果発表まで、どの作品がグランプリをとるか全く予想が付きませんでした。

ところが結果は前田茂夫さんの「炎に挑む」がグランプリと発表され、大きな拍手が湧き起こりました。恐らく作者もグランプリと予想はしていなかったと思います。応援の私たちもびっくりした程です。まことにお目出たいことで、車で来ていた進藤会員の車に全員が乗せて頂き凱旋帰阪、千里中央で祝杯をあげました。おめでとうございます。

丹波篠山、彩の国、東京アマチュア映像祭各全国コンテエストも、入賞は、なかなかの難関になっています。テーマの主旨を読みとり1カットも無駄のない様に編集し、どう山場を作って印象に残る映像をつくるか、改めて感じ入りました。制限時間8分の作品なのでクレジットタイトルはほとんどの作品は省いていました。その1カットを別に生かしたいのでしよう。(会長 合原一夫)

2月例会のお知らせ

2月例会は第4土曜日25日午後6時より、いつものJR難波駅上4階難波市民学習センターにて開催します。寒い日が続きますが風邪など召さぬ様、しっかり着込んでご来場ください。楽しい月1回の例会にどうぞお越しを。作品の方もお忘れなく。

平成23年度 年度賞発表 年度大賞は高瀬氏

年間170本以上の例会作品のうち、もっとも優れた作品と評価された作品に贈られるOMC年度賞は、去る12月24日に行われた幹事会によって、高瀬辰雄さんの「北山杉伝統技法本仕込み」の作品が選ばれました。年度優秀賞は紙本さんの「どろんこ祭」に、そして幹事の中からも選ばれるOMC会長賞には、江村さんの「雪の竹田城」が選ばれました。おめでとうございます。

- ・年度大賞 高瀬辰雄さん
北山杉伝統技法本仕込み (HDV) 13分
- ・年度優秀賞 紙本 勝さん
どろんこ祭り (HDV) 13分
- ・OMC会長賞 江村一郎さん
雪の竹田城 (HDV) 6分

■対馬 昭さんより退会のお便り

青森の実家でお母さんが入院されたので長男として家業を後継ぎしなければならなくなったので大阪を離れますとの事でした。

■錦 務さんからのお便り

昨年12月に錦さんが入院されて後、順調に回復されましたが、どことなく体調がすぐれず本来の循環器の持病に加えて呼吸器の方も肺に水が溜まるという事で治療中。従って冬の夜の外出禁止で2月例会まではOMC例会は出られない由。折角OMCの皆様と知り合い親切にして頂いており映写会や撮影会も楽しみにしているので皆さんによろしくとの事でした。

1月例会のレポート

1月例会は15日(第3日曜日)13時より開会、司会吉岡氏、書記宮井氏、上映担当河合、井上、江村の3氏、受付紙本、華岡両氏の担当で開会、4時頃から総会、5時から新年会へと席を移しました。

■出席者：有村、井上、岩井、上田、江藤、江村、岡本、上総、紙本、河合、河口、黒田、合原、進藤、関、高瀬、田中、鉄具、西村、華岡、前田、宮井、森下、森田、山本、吉岡、渡邊の27氏と作品13本でした。

■上映作品(今月の講評は宮井世話役です)

1. 人生また新たに HDV

宮井 健さん 10分

映像きしわだ会長の西出さんを撮った作品です。第2の人生を前向きに懸命に生きている姿に感銘して作品にしたいと思いました。構成は西出宅も撮影して家族構成なども入れたいと考えていたのですが、撮影許可がなかなかもらえず断念して、このような作品になりました。会員の皆さんのカットも出来るだけ入れるようにしたので構成が冗漫になりました。しかし、西出さんの生きる姿勢や映像きしわだの活動をOMCの皆さんに少しでも分って頂いたと思います。

2. 初夏餘部 HDV

江村一郎さん 6分45秒

作者が餘部を撮るようになったきっかけは前田さんの影響とお聞きました。前田さんは周知の鉄道マニア、作者は鉄道マニアではないと思います。両者の作風も当然違ってきます。この作品も作者らしいカメラワークと編集で作られています。タイトルバックの映像は前方に旧線と新線の二つの鉄橋が俯瞰で撮影されています。浜側からの鉄橋の全景、鉄橋と餘部集落のロングカットのあと新しい鉄橋の工事のカットが続きます。ここからが江村ワールドです。花の中の昆虫、鷺、ふとんを干している民家、小川、アメンボ、学校から帰る子供、地元の人たち、鉄橋のカットも随所に入ります。BGMは静かな曲に変わっています。コンクリート橋梁まであと70日とテロップが出て終わります。

3. 舟に生きる テレシネ

上田吉巳さん 14分30秒

33年前のOMC撮影会作品です。上田さんが会員相互投票で1位に選ばれて朝日生命ホールの発表会で映写しました。和歌山県有田市の船大工の松浦三郎さんのご協力で撮影しました。八角網で漁をするところと松浦親子がノミを使うところや演技もしていただきました。きめ細やかなカメラ撮り、そつのない編集で見事な出来栄です。4:3を16:9にしたのも成功しています。

4. ツークスピッツェ AVCHD

華岡 汪さん 9分36秒

昨年8月にドイツの最高峰ツークシュピッツェ 2962 mに登山した作品です。アプト式の登山鉄道に乗車して軽快なBGMに乗せて最初は平坦な線路を走ります。前方に急こう配の線路が見えてきます。日本ではケーブルで登るほどの傾斜です。アプト式でも登れるのだと期待をしていたら、期待はずれ、急こう配を登る映像が無くがっかり。終点リッフェルリッス駅に到着。ここからはロープウェイで頂上へ。展望台からはドイツ、オーストリア、スイスの山々の雄大で美しい絶景が広がります。近くに気象観測所もあります。ロープウェイでアイブ湖へ降ります。BGMが映像にぴったりの曲、ドイツ音楽とお聞きしました。曲の変わり目が気になりました。二つのタムラインを使用してオーバーラップで曲を入れ替えたらいと思います。

5. 晩秋の大阪城 BD

有村 博さん 6分08秒

自宅から自転車で大阪城に行かれたのこと。自転車があると撮影ポイントが楽に短時間で見つけることができるので効率的ですね。クラシックのBGMに美しい秋の風景が展開していきます。随所に紅葉や落ち葉のアップのカットがあって映像に変化が出て、まさにカメラ撮りの教材映像です。南外濠、大手門、櫻門、天守閣、千貫櫓、内濠、極楽橋、青屋門、東外濠など、テロップが出ます。極楽橋はロングカットで有りましたが、近くからのカットもあれば良かったのと思いました。見事な作品でした。

6. 広沢の池・冬の章 HDV

高瀬辰雄さん 6分10秒

タイトルに冬の章とありましたが、最初は晩秋の風景です。養殖の魚を獲るため、池の水が抜かれています。渡り鳥でしょうか、群れが空を舞う映像が美しい。池のほとりの11面観音、後の雪の場面でも登場します。冬の風物詩・広沢池・鯉揚げの看板のカットがあって老人が魚を笊ですくう映像になります。雪が激しく降る風景になります。白鷺が魚を獲り、いっきに飲み込

みます。雪が止み、静かな風景になります。鯉の収穫が終わった池に水が帰ってきます。日本の原風景の一つの素晴らしい作品でした。タイトルは広沢池冬の章ですが、晩秋の映像もあるので秋から冬へのほうが良いと思いました。

7. 軍師・黒田官兵衛孝高(後編) HDV

紙本 勝さん 15分

12月例会の前編に次いで後編の上映です。秀吉の中国攻めから始まり、本能寺の変、山崎の合戦、賤ヶ岳合戦、四国攻め、九州攻めと続き、秀吉軍の勢いは留まることを知りません。軍師・官兵衛の功績が大きかったのでしょうか。官兵衛の才覚を恐れた秀吉は官兵衛を警戒し、また官兵衛は秀吉を恐れたいきさつのナレーションは印象に残りました。膨大な話をナレーションで綴っていくのには映像も沢山必要で、作者以外に作れないと思いました。前編よりも解りやすかったですが、15分では見るほうの頭に収まりきれません。しかし歴史の勉強になるので何回か繰り返して見たい作品です。作者の作品ライブラリーに又ひとつ素晴らしい作品が加わりました。

8. 干支の歴史 BD

進藤信男さん 9分50秒

干支の成り立ちと深いかわりのある陰陽道と陽明師・安部晴明公をとりあげた構成になっています。陽明師は天体を観測したり暦を作成する科学的側面と吉凶を占ったり式神を自由に操る呪術的な側面もあったようです。

安部晴明は平安時代の人で官職であり政治に深いかわりを持っていたといえます。作品は櫻井市の安部山崇寺文殊院や京都堀川通りの晴明神社、大阪市阿倍野の安部晴明神社が撮影されています。全ての神社にシンボルの☆の絵が書かれています。今は使われなくなった陽明師や陰陽道ですが、暦に使われる方角や干支は現在も生活にかかわりあいを持っています。と作者は結んでいます。

9. 77歳立山登山の記 BD

鐵具嘉夫さん 14分45秒

立山登山ツアーに参加された作者のビデオ日記です。夜行で富山県に向かいます。

途中の車中から日本一の落差の称名滝が見えます。室堂に着き、一の越まで登ります。ここまでは比較的楽だったとナレーション。二の越三の越を目指し登ります。ナレーションが面白いです。「心臓のポンプが激しく鼓動し、空気は薄く肺は大きくあえぐ。」山頂に着いたけどガスが濃くて何も見えない、残念。ナレーションが作品を面白くしています。高山植物の花が沢山撮影されていて、いずれも名前が出ます。立山自然保護センターの所長さんに教えてもらいました。とテロップが出て終わります。

10. B 787伊丹空港初飛行 BD

井上勝彦さん 8分26秒

B 787は次世代中型旅客機。燃費が良く航空距離が長いのが特徴のようです。2011年7月5日、国内初飛行で羽田から伊丹空港までの飛行です。展望デッキで飛来するのを待っていた作者は飛んでいる飛行機を見事撮影に成功。超望遠撮影や速度をスロー再生や早送りなどを駆使しています。そしてB 787は羽田に帰って行きます。付録の映像は、ぶれ防止ソフトの映像オリジナルと補正後を二つ並べています。かなりの揺れも完全に近く止まっています。作者のソフトはプレミアですがエディウス6でも出来るようです。

11. 長刀鉾解体 HDV

前田茂夫さん 11分20秒

長刀鉾の巡行の場面から始まります。鉾の上にそびえたつ長刀。「御所に刃先を向けることはない」とテロップが出ます。巡行が終り解体が始まります。飾りの織物を取り、テコを使い車体を浮かしてジャッキを入れる。2メートルある車輪を取り外す。屋根の飾りを取った後、屋根も取っていきます。作業工程の映像に時折インサートカットが入ります。長刀を残したままこの日の作業は終わります。翌日は今にも雨が降り出しそうな空模様。そして作業を始めると雨が降ってきます。ジャッキを使い長刀がゆっくりと倒されていきます。刃先が雨にぬれないように傘をさす人。そして刃に布を巻きます。「雨のため長刀をじっくり見ることが出来なくて残念」とテロップ。櫓の解体は縄を刃物で切り手際よく作業が進

められました。珍しい映像を見せていただきました。

12. ドゥブロニク HDV

山本正夢さん 5分10秒

クロアチアにあるドゥブロニクは世界遺産に指定された都市。面積 市域 143.35 km²人口 43,770人(ネットから)

俯瞰の映像で赤い屋根の家が立ち並び、向こう側に海が見えます。テロップで「15～16世紀ヴェネツアと並ぶ交易都市として栄えアドリア海の真珠と呼ばれ1994年世界遺産に登録される」と出ます。テンポの早いBGMはシャープな演奏で魅力的な曲です。石やレンガで作られた家。大聖堂、広場での市場、ガラスケースの中には様々な食材を挟んだ丸いパン、カラフルな食べ物があります。細い路地、歩く人たち、土地の人や観光客などでしょう。そして海の風景になります、紺碧の美しい海。遠くで帆船が止まっています。城跡でしょうか。小さな大砲がありました。

終り近くに水着姿の女性が仰向けになって日光浴をしているカットがありました。素敵なお音楽に乗って歯切れのよい編集で素晴らしい作品でした。

13. ライプチヒ観光 HDV

江藤洋司さん 6分44秒

作者はOMCでは際立って若い年齢で貴重な存在です。行動力はすごいもので、見知らぬ外国へ一人で行ってしまいます。今回のドイツ旅行はフランスのワイン農家で出会ったドイツ男性に誘われての訪問とのこと。ドイツの駅から始まり飛行船、日本のレストランでの食事。高い建物にも登り、街の俯瞰の映像などがあります。全体に難解な映像が続きます。車から撮影された映像が何度もありますが、運転している人を撮ってない。会話もない。レストランでも料理の映像はあるけれど一緒に食べている人が全然撮影されてない。招待したドイツ人男性が観光案内をしてくれているのは分かるけど。私を撮らないでと言われたのかも知れない。若い作者に期待して作品作り原点「いつ」「どこで」「なにを」を解るように考えて撮影することを望みます。